

式辞

普段は見上げていた桜ですが、今年は大雪のお陰で、枝を手にとって見る事ができました。既に昨年からじっくり準備をしていた蕾は、2月の合格者登校日の頃には、しっかりとした蕾に成長し、そして今年も立派に咲いてくれました。新たな生活を迎えることとなった今年の桜は、皆さんの目に、より一層鮮やかに映っているのではないのでしょうか。

この佳き日に、山口洋和PTA会長様をはじめ、多数のご来賓の皆様をお迎えし、福井県立高志中学校の第4回目となる入学式を開催できましたことを、まず、厚くお礼申し上げます。

この入学式をもって第4期生として入学を許可される90人の皆さん、ご入学おめでとうございます。高志中学校は、この春、初めて卒業生を送り出したばかりの、まだまだ新しい学校です。これから、皆さんのアイデアと行動力で、新しい歴史を作り上げていくことを期待しています。

さて、入学に当たり、これからの学校生活の中で心に留めてほしい事を三つお話しします。

一つ目は、物事を考える時に全体を見る習慣を身に付けるということです。

例えば、大きな壁にぶつかって先が見えなくなり、道に迷った時には、大学に進んだ6年後の自分、社会人となった10年後の自分、夢を実現した未来の自分を想像してみてください。未来から現在に「留学」してきたあなた自身は、今の自分に対して、どんなアドバイスをするのでしょうか。

昨年9月の学校説明会に来たときの自分は、壁にぶつかっている自分に対して、どんなアドバイスをするのでしょうか。

現在の自分の状況を把握したいと思ったら、未来や過去の自分を想像してみてください。長〜い時間の物差しを使ってみると、自分を冷静に見ることができると思います。

これから物事を考えたり、調べたり、判断したりする時には、まずグーンと広い範囲を見渡して、全体の姿をつかむ習慣を身につけてほしいと思います。

二つ目は、一歩踏み出す勇気を持ってチャレンジすることです。皆さんは、地元の中学校ではなく、高志中学校への進学を選択するという、これまでの人生の中で最も大きな決断をして入ってきました。それだけの気概があれば、これからの6年間、学校生活でも課外活動でも、自分自身を高めるためのチャレンジができるでしょう。チャレンジの機会は周囲に無数に転がっていますが、そのチャンスを利用するかどうか、決めるのはあなた自身です。

また、皆さんの前には、先輩たちが築いてきた成果の積み重ねがありますが、それをた

だ受け継ぐのではなく、皆さん自身が考えて新しく創り上げてほしいと思います。

三つ目は、皆さんが「ふるさと福井」によって育まれていることを忘れないでほしいということです。御家族はもちろんのこと、小学校での活動を支え合ってきた友達、登下校の見守りなどを担ってくれた地域の方々、自然豊かな里山里海湖、さらに福井県の礎を築き、そして震災や戦災を乗り越え、幸福度日本一にまで高めてきた郷土の先人たち。こうした過去から現代までの積み重ねの上で、私たちは育てられています。

皆さんは、これまで過ごしてきた地域を離れ、この高志中学校で新たな学校生活を始めます。そして、6年後には大学へ進学し、やがて社会へと巣立っていきます。この6年のうちに、ふるさとの歴史、資源、風土についてしっかりと学んでほしいと思います。

以上、「全体を見る習慣」、「一歩踏み出す勇気とチャレンジ」、「ふるさと福井」の3点を常に意識しながら、90人の皆さん一人一人が、90通りの夢に向かって学び、友だちと交流し、楽しく学校生活を送ってほしいと思います。卒業した後、日本のどこで、そして世界のどこで活躍することになっても、常にふるさとを思い、願わくは「ふるさとを支える人」になることを期待しています。

さて、本日御参席いただきました保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

高志中学校では、全国の中高一貫校と相互に行き来をしながら交流を深め、新しい福井型の中高一貫教育の実践を重ねております。この入学式に出席している3年生と2年生は、これまで、高志中学校の生徒として立派な成果を収めてきました。学校祭などの学校行事やスポーツ・文化活動での活躍に加え、学習面でも素晴らしい成績を挙げています。

一例ではありますが、全国の中高一貫校約600校が受験している試験において、1期生は入学当初の90位から昨年の秋には9位に、2期生や3期生も、これに匹敵する成果を上げており、開校当初に目標としていた県外の中高一貫校とも、肩を並べるところまでグングンと成長しました。

また、外国人教員による全国的にも少ないオールイングリッシュの授業など英語教育にも力を入れており、実用英語検定においては、高校卒業レベルの2級以上を、卒業生の半数が取得しています。今後も、より高いレベルでグローバル社会の中で活躍できる人材の育成に努めてまいります。

こうした教育を担う本校のスタッフには、前例に囚われずチャレンジする意欲と使命感に溢れています。中学校教員はもとより、高校の教員全員が中学校の教員を兼務し、総勢約100名のスタッフ、さらには福井県の総力を結集し、お子様方が志す進路の実現を目指します。

中学生を送るこれからの3年間は、中高一貫校である高志中学・高志高校にとっても重要な時期にあたります。今年は一期生が高校に進み、来年は2期生、そして再来年は3期生が進み、中高一貫校としての形が完成します。

ただ、3年たてば自然に完成するのではなく、一年一年、新しく作り上げていく必要があります。

保護者の皆様には、スタッフを信頼いただき、高志中学校の理念、教育活動に御理解を賜りますとともに、お子様たちの学校生活を我々と共に支え、作り上げていただきますようお願い申し上げます。式辞といたします。

平成30年4月6日

福井県立高志中学校校長 山川 満寛